

2018年 1年間の休止期間を経て申請要件も新たに!

CLoCMiP® レベルⅢ 認証制度 新規申請始まる!



アドバンス助産師とは

助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)(以下CLoCMiP®)*レベルⅢ認証制度は、日本助産評価機構がCLoCMiP®レベルⅢに達した総合評価や実施例数など実践能力の証明と、研修受講および試験による知識習得状況を審査し、認証する制度であり、認証された助産師は、アドバンス助産師と呼称される。

現在、全国で活躍するアドバンス助産師は11,008人にのぼる。

*Clinical Ladder of Competencies for Midwifery Practice

2018年 CLoCMiP® レベルⅢ 認証申請の流れ



新規申請要件

1 申請対象者 (下記要件を全て満たした助産師であること)

- 1 日本国の助産師免許を有し5年以上(5年を終えた)の助産師経験を有する者
- 2 CLoCMiP®レベルⅢの総合評価が「B」以上で、認証申請要件をすべて満たし、施設内承認を得た者
施設内承認者は、病院勤務者は看護部長・施設長、診療所・助産所勤務者は院長、教育機関勤務者は上長(教授または教務主任以上)、助産所管理者は都道府県助産師会会長

2 申請要件

		要件	評価方法
到達の条件	マタニティケア能力	総合評価 ¹⁾	B以上
		分娩介助例数(70例以上は経産分娩)	100例以上
		新生児の健康診査	100例以上
		妊娠期の健康診査	200例以上
		産褥期の健康診査	200例以上
必須研修	マタニティケア能力	プライマリーケース	20例以上
		集団指導(小集団指導)	
		母親学級・両親学級	実践・指導ができる
		緊急時の対応(BLS、多量出血等)	
		新生児蘇生法(NCPR)	Bコース以上
		分娩期の胎児心拍数陣痛図(CTG)に関する研修	
		フィジカルアセスメント5領域: 妊娠期・神経・呼吸/循環・代謝・新生児	
		子宮収縮剤の使用と管理	過去5年以内の受講
		助産記録	
		妊娠から授乳期における栄養	
研修 ステップアップ	専門的 自律能力	周産期のメンタルヘルス	
		母体感染のリスクと対応	
		出血時の対応に関する研修(常位胎盤早期剥離)	
		周産期の倫理に関する研修	過去5年以内の受講
		助産師および後輩教育等に関連した研修	
		学術集会参加	過去5年以内に、助産および母性系の学会に参加 ²⁾
			認定証または合格通知書
			修了証
			修了証
			参加証/参加時のネームカード

1) 助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)活用ガイド) p.63-64参照 (<https://www.nurse.or.jp/nursing/josan/oyakudachi/kanran/sasshi/pdf/guide-kaisetsu.pdf>)

2) 2018年度の申請に認められる学術集会は下記のとおり

日本助産学会、日本母性衛生学会、都道府県母性衛生学会、日本母性看護学会、日本糖尿病・妊娠学会、日本看護学会-ヘルスプロモーション-学術集会、日本助産師学会、日本周産期・新生児医学会、日本新生児看護学会、日本母子看護学会、日本周産期メンタルヘルス学会、日本母乳哺育学会

● 詳しくは日本助産評価機構ウェブサイトへ (<http://josan-hyoka.org/>)

アドバンス助産師および アドバンス助産師を目指す助産師の オンデマンド研修

2018年度

主催

日本助産実践能力推進協議会

公益社団法人 日本看護協会 | 公益社団法人 日本助産師会 | 一般社団法人 日本助産学会 | 公益社団法人 全国助産師教育協議会 | 一般財団法人 日本助産評価機構

後援

公益財団法人日本医療機能評価機構

CLoCMiP® オンデマンド研修

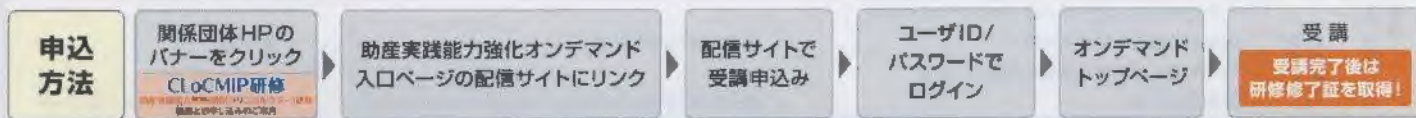
2017年度からの継続配信

配信期間
2018年5月17日～2019年3月15日
申込期間
2018年5月15日～2019年2月28日

- | | | |
|-------------------------------------|---|-------------|
| 1 CTGの判読とその対応* | 日本医科大学産婦人科 | 中井章人 |
| 2 新生児のフィジカルアセスメントとケア | 杏林大学医学部小児科 | 楠田聡 |
| 3 産科における母体救急とその対応 | 順天堂大学医学部・大学院医学研究科 / 順天堂医院産婦人科 | 竹田省 |
| 4 助産ケアと倫理 | 日本看護協会 | 福井トシ子 |
| 5 助産師を育成する支援者の役割 | 日本看護協会健康政策部助産師課 | 早川ひと美 |
| 6 常位胎盤早期剥離* | 福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 | 藤森敬也 |
| 7 安全に配慮した早期母子接触と助産師の役割* | 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 | 村上明美 |
| 8 妊娠期のフィジカルアセスメントとケア | 山本助産院 | 山本詩子 |
| 9 妊娠期から授乳期における栄養と食事 | 頼助産院 | 頼玲璃 |
| 10 妊娠期から産褥期におけるメンタルヘルスケア | 日本産婦人科医会 | 木下勝之 |
| 11 母体感染のリスクと対応 | 富山大学大学院 医学薬学研究部産科婦人科学 国立病院機構災害医療センター 災害事業部 | 齋藤滋 千島佳也子 |
| 12 臨床推論 | 筑波大学 医学医療系地域医療教育学 国立病院機構京都医療センター附属京都看護助産学校 助産学科 | 前野哲博 伊藤美栄 |
| 13 不妊・不育の悩みをもつ女性の支援 | 聖路加国際大学大学院 ウィメンズヘルス・助産学 | 森明子 |
| 14 女性に対する暴力予防の支援 | 聖路加国際大学大学院 ウィメンズヘルス・助産学 | 片岡弥恵子 |
| 15 多様な性の支援 | 大阪府立大学大学院 看護学研究科 | 佐保美奈子 |
| 16 専門職として身につけたいウィメンズヘルスケア提供のための基盤能力 | 日本助産師会 / ふちもと助産院 | 淵元純子 |

*産科医療補償制度で提言

講師のご所属は2018年4月現在



受講料 (税込) **会員* 2,052円 非会員 3,132円** *日本看護協会、日本助産師会、日本助産学会いずれかの会員
詳細は関係団体のホームページをご覧ください。

お問い合わせは 一般財団法人日本助産評価機構 <http://josan-hyoka.org/>